

わん+NAVI

レスキュー&セラピードッグたちの最新情報



石川県救助犬協会連合会 会報
平成16年4月1日第1号発行



当協会の活動も、はや3年目を迎えることができました。
会員各位はじめ、多大なご支援を頂いて参りました皆様に心より篤く御礼申し上げます。

昨年も各種団体の競技会や認定試験、各地で開催されましたイベントに参加させて頂き、RescueDogもTherapyDogも各方面で多大な成果を上げることができ、ありがたい評価も頂戴することができました。

今後とも関係各団体ともさらに協調を深め各地域、各方面での活躍の場を広げて行きたいと願っております。

会員も増加し、内容も充実してまいりました当協会は、日ごろの訓練や派遣活動にも更に努力をし、継続的な発展・進化を目指しますので、今後共一層のご指導ご協力賜りますように宜しくお願ひいたします。

NPO法人 石川県救助犬協会連合会 理事長 松平 博之





石川県知事 谷本 正憲

このたび、石川県救助犬協会連合会「会報」が発刊されることを、お祝いを申し上げます。会員の皆様方には、日頃から本県の防災行政にご協力をいただいておりますことに対しまして、厚くお礼申し上げます。

石川県救助犬協会連合会は、平成14年11月に設立され、地域に密着し地元で活動できる災害救助犬の養成などを行っておられると伺っております。これまでの活動に心から敬意を表する次第であります。

さて、我が国の災害救助犬の活動は平成7年に発生した阪神・淡路大震災の際、倒壊家屋の下敷きとなった被災者の捜索において注目され、また、平成9年に発生した鹿児島県出水市での土石流災害に際してもその捜索において被災者を発見するなど、その活躍が再認識されているところであります。

本県においては、このような万一の災害に備え、県内の優れた災害救助犬を嘱託犬とする制度を平成9年から設け、災害時における被災者の捜索や人命救助活動のため、災害救助犬の出動体制の確保に努めているところであります。

会員の皆様方におかれましては、引き続き、被災者の捜索や人命救助活動に必要な知識や技術の向上に努められ、県民の皆さん方の安全、安心の確保にご尽力をいただきたいと思っております。

最後になりましたが、石川県救助犬協会連合会の今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

わん+NAVIって?



わん+NAVIとは、「救助犬とセラピードッグの最新情報を知らせる」というもの。

わんわんナビゲーションの略です。

今のワンちゃん事情はどうなっているのか、これからどうなるのか‥

地域の、みんなで力を合わせてつくっていきまじょう！！



衆議院議員
文部科学大臣政務官
(特)石川県救助犬協会連合会 顧問

馳 浩



石川県救助犬協会連合会の会報が創刊されること誠におめでとうございます。またその創刊号に寄稿できることは私にとっては大変名誉なことでございます。

貴会は災害救助犬の育成をされています。災害救助犬といえば、95年の阪神大震災でのスイス・フランス隊の災害救助犬の活躍、これが今でも鮮明に思い出されるところです。またこれを機に、我が国においても本格的な災害救助犬の育成を図ることが喫緊の課題として強く望まれてきました。その意味で貴会の果たす役割の大きさをうかがい知ることができます。そして、特にNPO法人として活躍されている点にその意義の深さを感じます。自主・自立の精神の尊さを人命救助に関わるこのような尊いかつ難しい作業においても大切にする姿勢は、全てのボランティア活動の手本だと断言できます。どうか日本有数の実力ある団体になられますようご祈念申し上げてお祝いの言葉に代えさせて頂きます。



石川県議会議員
(特)石川県救助犬協会連合会 顧問

山田 憲昭



いつ見舞われるかもしれない災害、そしてそのとき自分が生き埋めになつたら、埋まって弱っていく自分を誰が助けてくれるのか、こう考えたとき災害救助犬の存在は実に心強いものがあります。

地震、津波、土石流、雪山・山岳の遭難、或いはテロ災害など、地球上では様々な災害が多発し、人間の力だけでは尊い人命を救えない場面も多々あります。

普段は家庭で飼われている犬たちですが、高い能力と体力とともに優れた判断力と経験を備え、高度な訓練を受けてきた彼らの出動の時であります。

こうした社会の要請に応えていく貴連合会は、日々の訓練やその養育費用も自己で賄うという、崇高な理念のもとに結成されたボランティア団体であり、心から敬意を表するものであります。

我が国では今、幅広い視点での危機管理が急務となっておりますが、災害救助犬に対する社会の期待も極めて大きいものがあります。

幸い本県には石川県救助犬協会連合会が組織され、この度、会報を創刊されることは、誠に喜ばしいことであり、心からお祝いを申し上げます。

県議会におきましても、養成に必要な訓練経費の助成や、出動体制の整備などに一層取り組んでいかなければならぬと考えております。

レスキュードッグ・セラピードッグたちとハンドラーの皆様の今後益々のご活躍を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

活動報告

平成15年

1月

- 17日 JK C近畿ブロック災害救助犬認定試験
場所 滋賀県山本訓練所内
- 19日 認定試験前練習
場所 キリンビール(株)北陸工場内公園



2月

- 2日 認定試験前練習
場所 石川県消防学校グラウンド
(金沢市東蚊爪町)

3月

- 16日 認定試験前練習
場所 石川県消防学校グラウンド
(金沢市東蚊爪町)
- 21日 S T連合会西日本展覧会・競技会
場所 ドラゴンハット(滋賀県)
- 28日 第6回石川県災害救助犬認定審査会
場所 石川県消防学校グラウンド
(金沢市東蚊爪町)

4月

- 13日 月例訓練(わんわんクラブ合同)
場所 津幡中央公園
参加 16名 16頭
- 27日 デモンストレーション(災害救助犬のPR活動)
場所 石川県産業展示館緑地公園内
参加 6名 5頭
- 29日 デモンストレーション(災害救助犬のPR活動)
場所 石川県産業展示館緑地公園内
参加 9名 8頭

5月18日 月例訓練(わんわんクラブ合同)

5月

- 1日 行方不明者捜索出動
場所 津幡町俱梨伽羅山地地内
出動 2名 2頭
- 3日 デモンストレーション(災害救助犬のPR活動)
場所 石川県産業展示館緑地公園内
参加 10名 9頭
- 4日 デモンストレーション(災害救助犬のPR活動)
場所 石川県産業展示館緑地公園内
参加 11名 11頭
- 5日 デモンストレーション(災害救助犬のPR活動)
場所 石川県産業展示館緑地公園内
参加 8名 8頭
- 18日 月例訓練(わんわんクラブ合同)
場所 津幡住吉公園
石川県救助犬協会連合会 臨時総会
場所 津幡住吉公園
参加 25名

6月

- 1日 額中学校創立記念日 記念講演
場所 額中学校体育館内
参加 15名 8頭
- 8日 2003 JK C北陸甲信越ブロック訓練競技会
・アグリティ競技会
場所 小松市浜佐美公園
- 29日 月例訓練
場所 健民海浜公園運動場
(金沢市佐奇森町)
参加 15名 9頭



10月7日 平成15年度(第44回)石川県防災総合訓練

7月

- 6日 夏季合宿訓練下見
 場所 赤瀬ダムレクリエーション広場
 (小松市大杉町)
 安宅海浜公園キャンプ場
 (小松市内)



- 12～ 月例訓練（夏季合宿訓練）
 13日 場所 赤瀬ダムレクリエーション広場
 (小松市大杉町)
 参加 15名 14頭

- 19～ 夏季合宿訓練会
 20日 場所 全国災害救助犬協会連合会・本部
 参加 2名 3頭

8月

- 6～ 15年度JKC東日本災害救助犬夏季合宿訓練
 9日 場所 JKC東日本災害救助犬訓練施設
 (福島県白河)
 参加 1名 1頭

- 10日 月例訓練
 場所 手取川 天狗橋下十八河原河川敷
 参加 27名 17頭

- 24日 審査会に向けて訓練
 参加 5名 5頭

- 31日 審査会に向けて訓練
 参加 4名 5頭

9月

- 14日 月例訓練
 場所 手取川 天狗橋下十八河原河川敷

- 23日 動物ふれあいフェスティバル
 場所 辰口丘陵公園

- 26日 上級救急救命士講習
 場所 滋賀県大津市消防局東消防署
 参加 1名

- 28日 月例訓練
 場所 津幡町
 老人福祉施設「大門園」訪問
 場所 吉野谷村



10月19日 ふれあいフェスタ '03

10月

- 2日 家庭犬訓練認定試験
 場所 北陸畜犬
 参加 6名 4頭

- 5日 訓練
 場所 富山八尾練習場

- 7日 平成15年度(第44回)石川県防災総合訓練
 場所 輪島市
 参加 10名 9頭

- 9日 オールジャパン2003第10回記念訓練競技会
 場所 小松市浜佐美公園

- 19日 ふれあいフェスタ '03
 場所 津幡町森林公園「緑化の広場」
 27日 第10回全国災害救助犬認定審査会
 場所 富山県牛岳スキー場
 参加 6名 4頭

11月

- 16日 月例訓練及びミーティング
 場所 石川県消防学校グラウンド
 (金沢市東蚊爪町)
 参加 数多

- 23日 石川県嘱託救助犬審査会に向けての訓練
 場所 德光海岸公園

- 24日 石川県嘱託救助犬審査会に向けての訓練
 場所 德光海岸公園
 参加 6名 4頭

- 30日 セラピードッグ適性試験審査会
 主催 NPO法人 G.T.S
 場所 南加賀保健福祉センター
 参加 4名 2頭

12月

- 14日 石川県嘱託救助犬審査会に向けての訓練
 場所 健民海浜公園運動場
 (金沢市佐奇森町)
 参加 10名 15頭

- 21日 月例訓練
 場所 健民海浜公園運動場(金沢市佐奇森町)
 参加 数多

活動報告

平成16年

1月

- 4日 月例訓練
場所 健民海浜公園運動場（金沢市佐奇森町）
参加 多数

**2月**

- 4日 雪崩事故救助救出訓練（金沢市広坂消防署合同）
場所 医王山スキー場
参加 「亀田アール」「西村ボルドー」「松井ドナ」「諸江アリー」「大蔵リー」

- 8日 上級救急救命士講習会
場所 駅西消防署内
参加 21名

2月4日 雪崩事故救助救出訓練

- 15日 月例訓練
場所 健民海浜公園運動場（金沢市佐奇森町）
参加 多数

3月

- 14日 月例訓練
場所 石川県消防学校グラウンド
(金沢市東蚊爪町)
参加 多数

- 16日 老人福祉施設「金沢南ケアハウス」訪問
場所 野々市町



2月8日 上級救急救命士講習会

今後の予定について

月例訓練及びセラピー講座

4月18日(日)
5月23日(日)
6月13日(日)

その他

6月6日(日) 訓練競技会予定日

上記の日程はあくまでも予定なので、変更がある場合もございますのでご了承ください。

なお、場所や時間が確定したら事前にお知らせいたしますので、会員の方はメールまたはFAXや電話といった会員の連絡先を教えていただきますようお願いいたします。連絡網も作成中なので会員の方々にはご迷惑をおかけしますが、みなさんで作っていく協会なので是非ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

<http://www.sfdatalne.jp/IRD/>

出 動 報 告

津幡町人命捜索報告

平成15年

- 4月 30日 救助者(STさん 男性) が4月28日22:30頃居なくなり19時に津幡町助役 及び消防本部より石川県救助犬協会連合会に要請あり 津幡町消防本部にSTさん捜索本部が設置
- 5月 1日 早朝6時より、俱利伽羅山一円救助犬(西村)ボルドーにて検索17時打ち切り 13時より(亀田)アールさらに俱利伽羅不動山周辺から検索する
- 5月 2日 午後3時ごろ金沢市深谷町道路上で知人達がSTさん発見保護した

搜索出動

平成15年9月9日早朝、自殺の虞のある家出人の使用する車両が金沢市専光寺町地内しおさいロードで放置されているのが見つかり、付近一帯を人海戦術で捜索したが発見できなかった。との情報があったことから、西村さんと連絡を取り、早朝訓練を兼ねて9月10日朝から、専光寺ソフトボール場から海側の松林を検索することにした。午前5時にソフトボール場駐車場で落ち合い、二手に分かれ遊歩道沿いに左右の検索を実施することにした。

松林は7~8年位の松林で茨や笹それに蔓性の植物で人がなかなか中に入って行けない所などもあったが、犬たちは奥の方まで精力的に探してくれ、約1時30分の検索を実施したが何も発見することが出来なかつた。

終了時に携帯電話で連絡を取り合い、駐車場近くまで来たところで、それぞれが隠れ役をして、犬に見つけたと言う意識付けをし検索及び訓練を終了した。

私は、そのまま勤務地へ直行し勤務に就いたのですが。午後になって家出人が電車で自宅のある東京に帰った。との連絡が入ってきた。やはりあそこには居なかつたと確信できた。

亀田行宣

ジャパンアグナリー大会警戒出動報告

平成15年8月3日から5日まで珠洲市八ヶ崎地区において開催された、ジャパンアグナリー大会にご臨席の皇太子殿下の、警衛、警備の為石川県警察本部嘱託警察犬が6頭指名された。内3頭は、爆発物捜索犬としての訓練を大会前、時間をかけて行い、後の3頭は警戒の訓練をし、爆搜、警戒犬を1頭づつ組織、3班編成とし、それぞれ県警本部鑑識課の方々と一緒に回った。

出動メンバーは、

爆発物捜索犬: 東山 穎、佐藤政信、伊藤祐二、 警察犬: 南出一康、細川雅人、藤井 亮

佐藤 政信

石川県救助犬協会連合会 認定犬

| 犬名 | 生年月日 | 犬種 | 性別 | 取得資格 | 指導手 | 所有者 |
|---|------------|---------|----|------------------------------|--------|--------|
| ディー オブ トーキー シゲル ジェイピー CDX | 1999.1.14 | LR | ♂ | JKC 災害救助犬認定犬 石川県嘱託災害救助認定犬 | 西村 外茂次 | 西村 外茂次 |
| パンラム オブ ノンンドリーム ジェイピー CDX | 1997.6.25 | LR | ♂ | 石川県嘱託災害救助認定犬 | 大蔵 信之 | 大蔵 信之 |
| APPLE BLOSSOM OF TOYA MATSUI JP CDⅢ T.CH | 2000.5.10 | LR | ♀ | 石川県嘱託災害救助認定犬 セラピー ドッグ 認定犬 | 高島 亜矢子 | 松井 幸子 |
| ANASTASIA OF RUN & RUN JP CD Ⅱ | 2001.3.26 | パピヨン | ♀ | セラピー ドッグ 認定犬 | 高島 亜矢子 | 土屋 紀子 |
| ベルント オブ トップ アッコハウス | 1994.1.17 | G.シェパード | ♂ | 石川県警察嘱託警察犬 | 細川 雅人 | 細川 雅人 |
| ビーネ フォン シュテル ヴィンター | 1998.9.6 | G.シェパード | ♀ | 石川県警察嘱託警察犬 | 細川 雅人 | 細川 雅人 |
| バランサー オブ ミハルユキ | 2000.4.28 | LR | ♂ | 石川県警察嘱託警察犬 | 諸江 瑠子 | 藏屋 憲一郎 |
| アンディー フォン シンシュウタケイソウ | 1994.10.4 | G.シェパード | ♂ | 石川県警察嘱託警察犬 | 諸江 瑠子 | 松本 恵 |
| エック フォム ハウスソフト | | G.シェパード | ♂ | 石川県警察嘱託警察犬 | 諸江 瑠子 | 釜田 洋光 |
| コティ フォム グロースヴァルテン | 1992.10.27 | G.シェパード | ♀ | 石川県警察永久嘱託警察犬 | 佐々木 秀之 | 佐々木 秀之 |
| アラン フォンデア ナハトムズイーク | | G.シェパード | ♂ | 石川県警察嘱託警察犬 | 佐藤 政信 | 若林 勉 |
| ヨーゼフ オブ イーストマウンテン | | G.シェパード | ♂ | 石川県警察嘱託警察犬 | 藤井 亮 | 藤井 亮 |
| Dream of Arabian Nights | 1995.5.7 | G.シェパード | ♀ | 日本訓練ジーガー ジーゲリーン | 北川 正 | 北川 正 |

会員募集

当協会では会員を募集しております。

年会費 ¥3,000

月例訓練等の予定は協会ホームページに掲載されて
おりますので、興味のある方はぜひ見学・参加にいらしてください。

<http://www.sfdata.ne.jp/IRD/>



これまでを振り返って

西村 外茂次

石川県救助犬協会連合会会報第1号発刊おめでとうございます。

「災害救助犬」国内では阪神の震災で活躍したのも記憶にまだ新しいが、今ではほとんどの人が知っている警察犬同様使役犬の単語です。

私は1970年代最初に飼ったシェパードの雄のウルフが長野県警の要請で浅間山荘事件に出動しました。最近その映画を見て懐かしく思いました。当時私も若かったのかその様な現場に愛犬を警察犬警戒犬(襲撃)として出しても、可愛そうとかそんなに思わなかつたが、後に担当の訓練士さんに余りの凄まじい現場でウルフを思わず抱え込んだと聞き寒くなつたのを思い出します。

愛犬の黒ラブ、ボルドーを「災害救助犬にしないか」と訓練士さんに言われた時とんでも無いと言つたのも、大きな認識不足でした。災害現場では大変な危険を伴いますが、浅間山荘事件の様な犯人に攻撃を受ける様な所では無く、十分に備え調査しチームワークを持って作業すれば救助犬そしてハンドラーとして活動できると思い、現在石川県嘱託災害救助犬の認定とJKC災害救助犬の認定を頂いております。

石川県嘱託災害救助認定会も今年3月で第7回目を向かえます。第1回認定犬達も年を重ねながらまだ現役で活躍しております。近年新しく認定されるが少ないため、心配の中昨年石川県や関係機関のご指導を仰ぎ、また県内の多くの訓練士さんはじめ多くの愛犬家や会員ご家族のご協力を得まして当協会はNPO法人を取得できましたことを大変感謝しております。

月例訓練会、夏の強化合宿訓練、石川県防災総合訓練、医王山での金沢広坂消防署との合同冬山雪崩事故救出訓練、JKCの世界に通用するIPO-R受験、津幡町山中人命搜索出動、福島県白河のJKC災害救助犬訓練場合同訓練会、金沢市駅西消防署での上級救急救命士講習会など、会員の方々と参加させて頂き、石川の救助犬育成に確かな手ごたえを感じております。

松平博之理事長や高島亜矢子訓練士の熱心な指導のもと、服従訓練(CD2)以上のできるハイレベルなセラピードッグの育成も始まり会員さんの愛犬も優秀な成績で合格し、訪問先のお年寄りに大変喜ばれています。

54歳の私も昨年新たに若い犬を2頭家族に迎え災害の無いのを願いながら救助犬の訓練育成に励んでおります。会員の皆さんや愛犬と共にこの組織を大きく育て世の中にご奉仕出来る様心から念じている次第です。

石川県消防長会会報

第81号

昭和15年5月20日発行 NO-4



去る四月二十八日から当消防本部管内で行方不明者が発生しました。場所は津幡町と小矢部市の県境である併利伽藍不動寺周辺で、火牛源平合戦で有名な地獄谷と呼ばれる急傾斜地が多くある山間部のため、搜索は難航しました。警察、消防団員、町職員、地元住民等、連日約二百名の搜索のほか、県消防防災ヘリ「はくさん」と県警ヘリ「いぬわし」も合わせて搜索となりました。

今回、初めて石川県災害救助犬協会に協力を依頼し二頭の救助犬(ラブラドーリトリバーやシェパード)が搜索に加わりました。石川県災害救助犬協会には現在、七頭が登録されており、その中でも山中を搜索できる救助犬は三頭と少ないそうです。災害救助犬は、臭いを感じて捜す警察犬とは違い、不明者の生体を感知し前後左右を嗅ぎながら捜す方法です。

三日間の搜索活動も幸いして不明者は、元気に発見されました。今後、災害救助犬の登録数が更に増えることを希望し、更なる活躍を期待するものです。

行方不明者捜索に災害救助犬出動

津幡町消防本部

MEMBERS REPORT



大蔵 信之

早いもので、災害救助犬と出会い7年になります。

最初の出動は県内の山搜索でした。残念ながら結果は遺体発見でしたが、そいつた現状にこれまで全く無関係な人間が直面した状況にはかなり戸惑いました。

この時、私は必ず生存者を発見し、誰かを助けたいと思いました。

1999.9.22台湾大震災では、救助犬石川、静岡、宮城、福島、富山と現場に出動、その後2チームに分かれ、1チームは軍隊のヘリコプターで山岳部の出動要請がかかり、私は救助犬と共に静岡のチームと待機中、副指揮官の指揮の元搜索活動を開始。小学校の一階部分



が倒壊、瓦礫の隙間が30センチから60センチで人間が腹ばいになりやっと入れる状態で、瓦礫をかしながら搜索をしました。

もう一つのチームは、南投県で一階がつぶれた三階アパートで、瓦礫の中で埋もれていると思われる人を発見。救助犬達は、同じ場所を行ったり来たりの繰り返し反応している。しかし救助犬達は吠える事をしなかった。(生存者に吠えるように教えてあるため)多分その方は生存の可能性がないと判断された。生存者無と判断された建物は解体に入る。

その当たり前の作業工程を目の当たりにした時、自分達の行動のひとつひとつに、重大な責任があるのだと強く痛感しました。

救助犬の活動に関しては、現場、現場で新しい発見、今後の課題発生の連続です。

救助犬を育てるにあたり簡単に文章では表現できませんが、搜索時には、心底探して欲しいと願う家族に応えられる、一生懸命探す指導手、一生懸命探す犬(救助犬)を作りたいです。

当協会もNPO法人となり、会員数も予想以上に増え、救助犬・セラピードッグ育成、救助犬での行方不明者の搜索活動、セラピードッグでの施設訪問、防災訓練、各種イベント等と、幅広い分野に浸透しています。

今後、石川県救助犬協会連合会の益々の活躍と発展を願い、皆さんの技術、経験等を勉強させて頂き、自分自身努力していきたいと思います。



雪崩事故救助救出訓練

松井 幸子

前日夕方より降り始めた雪が、山ではあつという間に降り積り、フカフカの真白い新雪の中での雪中訓練となりました。

ビジュアル的には、いかにも「らしい」雪中訓練でした。

山中はさすがに積雪量が多く、「かんじき」を装着しての訓練となり救助する側の準備や姿勢の必要性をあらためて考えさせられました。

今回は訓練ということで、遭難者の埋もれた場所があらかじめ示されており難なく発見までたどり着きましたが、実際の救助の場合、雪の中それも新雪にも埋もれてしまうと雪が非常に細かいために遭難者の匂いが表に出にくくなりそうです。確かに水分の少ない新雪に足がはまってしまうと、もがいているうちに圧雪状態になってしまい、なかなか足が抜けなくなってしまいます。雪の中にあるのが足だけならまだしも体全部が埋まってしまうと考えるとゾッとなります。

雪山での捜索に限ったことではありませんが、遭難者が助けを求めて声を出せる状態である場合も考えられるため、救助する側は「呼びかけ」と共に遭難者の発する声や物音を聞くための静かな時間を作ることも必要となります。

今回の訓練のような山捜索では探す範囲がとても広く、多勢のレスキュー隊の方々と合同で捜索を進めていくことになります。冬の山中での活動では二次災害となり得る雪崩事故についても注意をはらわなくてはなりません。犬達の優れた嗅覚をたよりに遭難者を発見することが私たちにできる救助作業ですが、共に捜索し無事発見された遭難者を救出・搬送する方々との連携を日ごろから深めておくことは必要不可欠なとても大事なことであると感じました。また今回のように他の団体との合同訓練という形の場合に取材されるマスメディアに対し「見せる」ということも必要なことのようです。

ビシッと整列すること、制服を揃えること等々今後検討していくなければならない問題は数多くあり、まだまだ勉強することがいっぱいです。ともあれ良い経験になりました。

皆さん、慣れない「かんじき」の装着での訓練、お疲れ様でした。ちょっと不謹慎だけど犬達は楽しかったでしょうね。

これからもがんばりましょう！



「北國新聞」記事全文



広坂消防署は四日、田島町の医王山スキーフィールドで、雪崩事故を想定した救助訓練を繰り広げた。署員の訓練は毎年行っているが、今年は初めて災害救助犬が参加。協力して、雪崩に埋まった人を捜す訓練に取り組んだ。

訓練はスキーヤー一人が表層雪崩に巻き込まれ、雪に埋まつたという想定で進められた。署員らはまず、捜す範囲を決めて旗を立て、棒を雪面に挿して遭難者を捜した。新たな雪崩発生に注意を払いつゝ「誰かおるか」と呼びかけていたが、救助犬は素早く発見。振り起して救出し、心肺蘇生(そせい)などの応急処置をした後、担架でふもとまで搬送した。

訓練を終えた署員や県災害救助犬協会関係者は「意義深い訓練ができた」と、災害時の連携を約束した。

「北陸中日新聞」記事全文

金沢市広坂消防署は四日、同市の王山スポーツセンター前で雪崩事故に備えた救助救出訓練を行った。災害救助犬も参加した合同雪中訓練は石川県内で初めて、救助隊員ら二十人、救助犬とともに新雪を踏みしめて訓練に臨み、万一事態に備えた

スキーヤー一人が表層雪崩に巻き込まれたとの想定で行われた訓練には、石川県救助犬協会連合会のラブ・ドール・レトリバなど五頭も参加し、訓練されときゆう覚を生かした。現場には約二㍍の雪が積もる。雪が降る状況の中、指令を受けた同署の特別救助隊と警防隊員は、かんじきを履いて新雪の山腹を進み、検索棒などで捜索隊員や救助犬が生き埋めの遭難者を発見すると機敏な動きで掘り起こし、心肺蘇生術を施しながら担架に乗せて運んだ。

訓練後、船崎伊久輔署長が「北陸の消防は雪に対して油断できない。万一の事態に備えて欲しい」と訓示した。



全国ボランティアフェスティバル に参加して

宮本 恵美子

昨年10月11日、12日に石川県内8ブロックにて「第12回全国ボランティアフェスティバルいしかわ」が開催されました。

当協会は石川災害ボランティアネットワークに平成15年1月18日で設立と同時に加入しました。この石川災害ネットワークとは、災害時に備えて日ごろからボランティアグループが、お互いの活動を知り合い、また地域の災害情報を交換するとともに、ボランティアグループが交流を図ることを趣旨としています。

私たちは全国ボランティアフェスティバルのテーマ別のつどいで「災害時、誰がどう動く」のプログラムにスタッフとして参加しました。このボランティアフェスティバルを成功させるために8回にも及ぶ事前会議を行いました。このプログラムは12日に中央公民館彦三館で開催されました。時間は3時間と短かったのですが、(特)日本災害救援ボランティアネットワーク理事の渥美 公秀氏の基調講演とその後にワークショップとして「災害時、誰がどう動く」についてグループごとに話合いました。被害想定として石川県を震源とする大きな地震があり、被害も大きく…など被害想定があり、被害状況も提示して、グループの皆さんに「あなたはどう動きますか?」という話し合いをしていただきました。やはり皆さん参加したいだけあって意見もどんどん出てくるし、災害時のネットワークが確立されていくような気がしました。

このボランティアフェスティバルに参加して皆さんの災害時の意識の持ち方がしっかりしているというのを感じさせられました。私なんか全然災害のことなんて…と思っていたので、皆さんのお見などを聞いているうちに恥ずかしいと思いました。いつ起こるか分からない災害です。でも「大丈夫だろう」という思ひのではなくて、「もしかしたら」と思ひ災害についてもっと意識していくことを思いました。

夫婦、二人三匹

小谷 八重子

我が家にはトマト(雑種)14歳、小次狼(北海道犬)9ヶ月の2匹の息子達がいます。また5月にはマリア・ルバーブ(ラブラドール)9歳の娘が新しい家族となります。

私達夫婦と犬との出会いは14年前になります、現在14歳になるトマトです。この犬は私達夫婦と苦楽を共にしてきた家族です。また9ヶ月になる小次狼は夫の知人所有の北海道犬の子供です。母犬のお腹の中にいる時犬好きの私達に一匹もらってほしいと言われ、夫が譲り受けた犬です。

夫も私も仕事に明け暮れる生活で、私も年齢的に(更年期)と言われる時期に入り、一時的に毎日の生活にうっすらモヤがかかっている毎日でした。頭の中では何かをしなければと思っていても、身体と気持ちがついていきません。そんな時救助犬のことを知り犬を通じてボランティア活動が出来る事を知り参加させていただくことになりました。しかし救助犬を育てるというより犬のしつけを教えていただきその楽しさを知るだけです。また我が家的小次狼は吠えることが上手ではありませんので時間をかけて訓練していきたいと思っています。

5月から家族になるルバーブは現在、夫の同級生で全盲の方と二人暮らしです。私達が時々訪ねると相手をしてほしい様子がとてもおしく思え、リタイヤ後は私達の手で育てたいと思いお話しして、受け入れを承諾してくださいました。

これからは、犬を通じ特に子供たちに、生き物の可愛さ、いとおしさを知ってもらいたいと思っています。

犬は私達夫婦の心と身体を健康に導いてくれる家族です。



アニマルセラピーをはじめて

アニマルセラピー指導士
高島 亜矢子

アニマルセラピーの指導士を始めて約半年が経ちます。
松平会長からお話を頂いたときは、驚きと不安でしたが『とにかくやってみよう』と思い指導士の勉強を始める事にしました。

アニマルセラピーには、動物と触れ合う事を目的とした動物介在活動(アニマル・アシステッド・アクティビティー)と、医療に携わる有資格者が医療の一つとして綿密な計画に基づいて行う動物介在療法(アニマル・アシステッド・セラピー)の2つがあります。

平成15年9月28日動物介在活動を行うため、吉野谷にある老人福祉施設『大門園』を訪問しました。参加者は、松井幸子さん&ドナ、土屋スズ&私、そして2つのホールにそれぞれ集まって頂いた40名程のお年寄りの方々。

私自身、老人施設は訪問したことがなく、お年寄りとどう接して良いのか、わからず戸惑っていましたが、『こんにちは、スズです』と一人一人に笑顔で声を掛けてゆき、今回の活動が始まりました。どんどん話しかけてゆき『犬は好きですか?この子かわいいでしょ』等とスズの事アピールし職員の方と確認しながら膝にだっこしてもらったりと色々な方法で触れ合って頂きました。

犬が大好きで早く抱っこをしたいという方、犬は見たいが触るのは抵抗ありという方。その中で、犬の持つパワーが偉大を感じたのが、スズが膝の上で抱っこをされている時、入所者の方の麻痺していた手が動き始めたのです。この様な機会がないと滅多に自発的に行動を興すということは無いそうです。この時は、職員の方々も驚きと感動の声をあげていたのを覚えています。私にとってこの訪問がまた新しい勉強となったこと、そしてこうした機会に恵まれ人と動物の繋がりが発見できて、良い経験となりました。

今年3月から野々市町の南ケアハウスにて当協会の活動を開始します。

この訪問がきっかけとなりアニマルセラピーの事を皆様にご理解して頂き、活動の輪が広がっていく様、がんばりたいと思います。

今後とも宜しくお願ひ致します。



9月28日 老人福祉施設「大門園」訪問

一般向けセラピー講座 開設

今年4月より、一般の方向けのセラピードッグ講座を開設いたします。

| 基礎服従訓練講座 | 適正試験対策講座 | セラピードッグ認定試験予定日 |
|----------|-----------|----------------|
| 4月 1日(木) | 9月 2日(木) | 11月 7日(日) |
| 4月22日(木) | 9月16日(木) | |
| 5月 6日(木) | 10月 7日(木) | |
| 5月20日(木) | 10月21日(木) | |
| 6月 3日(木) | | |

お問い合わせ

〒921-8134

金沢市南四十万3-39-2

Tel 076-298-9555

<http://www.sfdatabase.jp/IRD/>

石川県救助犬協会連合会について

事業内容及び目的

本会は搜索、救助犬による人命救助とその活動に必要な知識、技術の向上を図ることにより社会への奉仕を目的として活動しています。

- ・山岳救助犬・災害救助犬の作出、研究
- ・救助犬ハンドラーの育成
- ・瓦礫や雪崩、土砂等の下に生き埋めとなった不明者搜索
- ・限定された地域に特定できる場合の犯罪者の逃走・潜伏場所の搜索
- ・救助犬の必要性についてのPR活動
- ・救助活動、救助犬作出、研究に関する関係各庁と関係団体との連絡協調
- ・その他本会の目的を達成する為に必要な事業
- ・セラピードッグの育成と指導手の養成
- ・種々の状況に対応できる救助犬の作出、研究
- ・山中、原野などで迷ったりしたハイカー、キャンパー、子供、痴呆性老人搜索
- ・あらゆる現場で負傷等により動けなくなった人の搜索
- ・当協会へのボランティア活動者の募集
- ・学校、施設等の実演講演会
- ・国内外における救助犬協会及びそれに類する団体との交流



Ishikawa Rescue Dogs Association

協会人数 47家族81名(平成16年3月末現在)

当協会が加入している団体

(社会福祉法人)金沢市・石川県・全国社会福祉協議会

金沢市社会福祉協議会 ボランティア保険

海守(一部会員)

賛助会員募集中

当協会の活動は全て会員の無償のボランティアで成り立っています。

国や県、市町村などや特定の企業からの補助金や、支援などは一切
いただいておりません。一頭でも多く、楽しく働く犬達を、社会に
貢献させるために皆さんからの、募金によるご協力をお願ひいたします。

郵便振替口座
振替先 石川県救助犬協会連合会
口座番号 00710-8-55848
年会費 ¥3,000(1年間)
(通信欄に賛助会員とお書き添えください)

編集後記

救助犬協会連合会の第1号をやつと発刊できました。協会のホームページもでき、いろんな方々に協会活動をより一層広めていくことができれば嬉しいと思ひます。会報を作成するにあたって会員の皆様並びに関係各所の方々にもご協力をいただきた事を深く感謝いたします。また今後も会報のみでなく、協会活動等にご協力・ご支援いただける様よろしくお願い申し上げます。

宮本

ます!
会報やその他お手伝いについても是非協力したいという方がいらっしゃったらお願いします!

特定非営利活動法人 石川県救助犬協会連合会
<http://www.sfdata.ne.jp/IRD/>